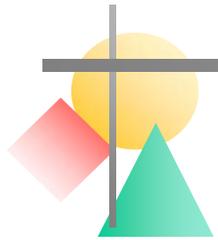


資料-5

H22.5.8



**平成22年度  
天塩川水系における魚類関連調査予定**

## 1. サクラマス産卵床調査

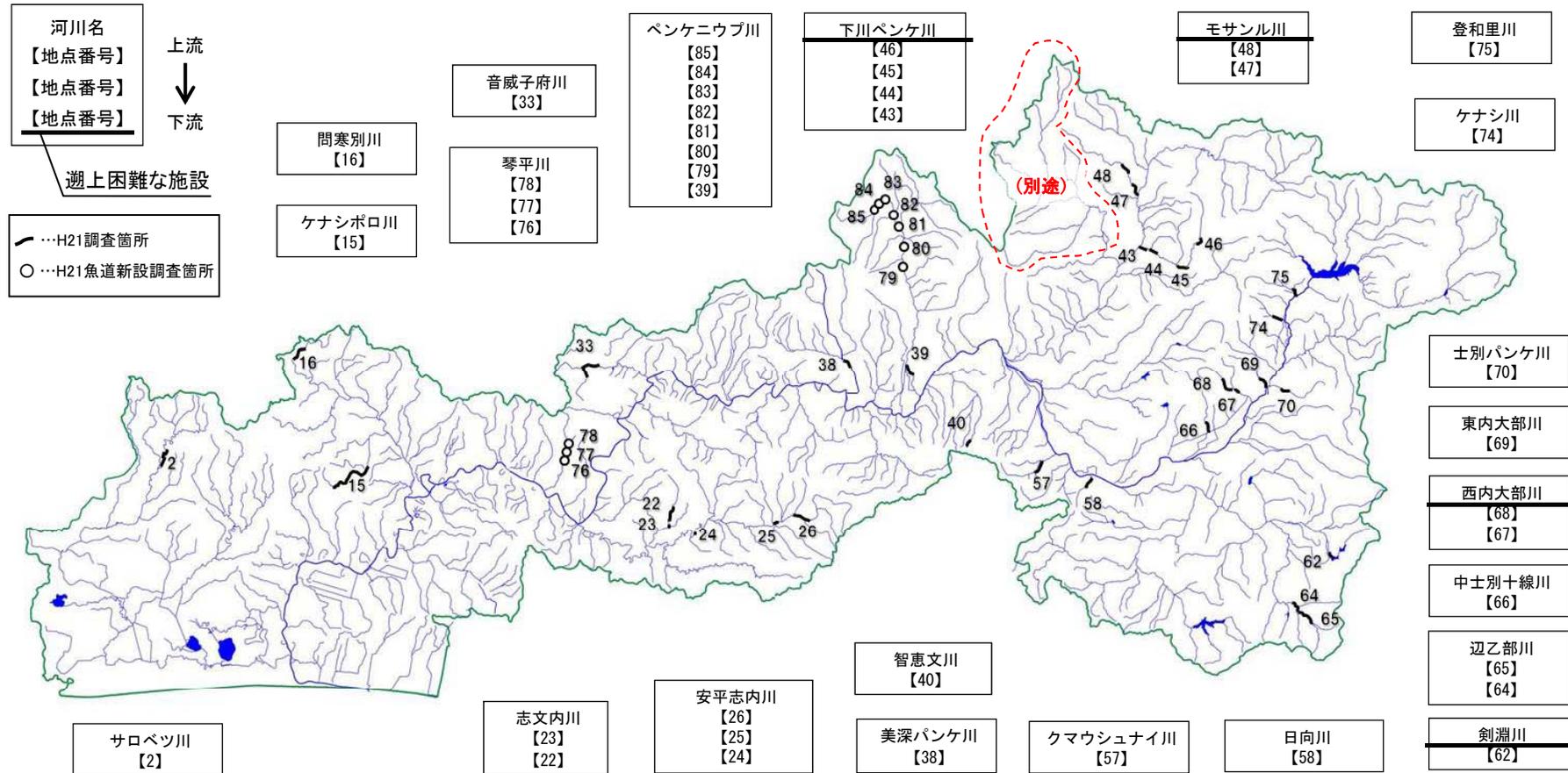
### 1) 調査概要

天塩川水系の主要河川においてに、河川内を踏査し、サクラマス産卵の分布状況を把握する。

### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年9月～10月に、H21調査河川、補足追加4河川とH21魚道新設河川において1回実施

※ サル川本支流を含まず



## 2. サクラマス幼魚生息密度調査

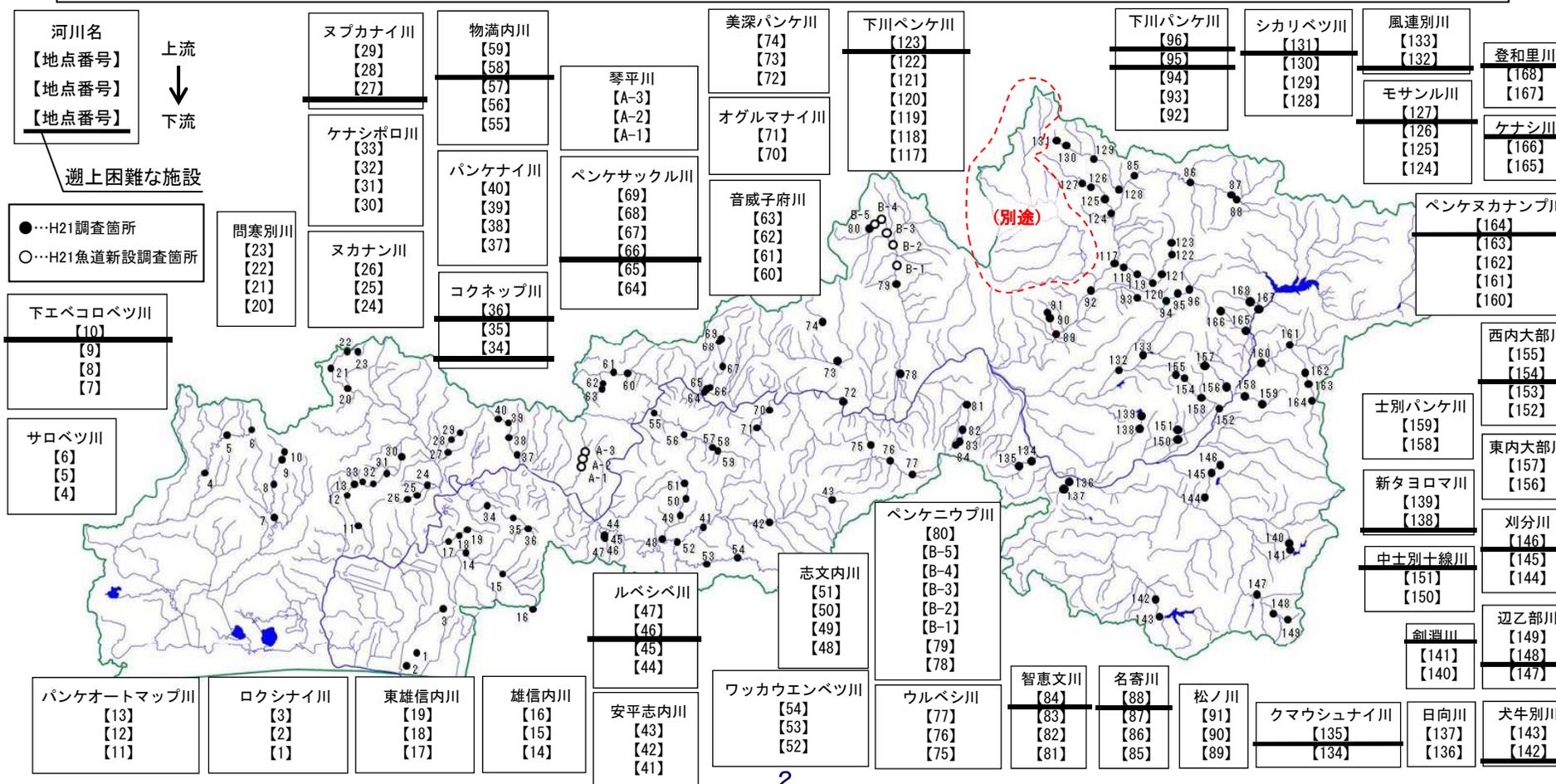
### 1) 調査概要

天塩川水系の主要河川においてサクラマス幼魚の分布状況および生息密度の把握を行うために、ショッカー及び投網によりサクラマス幼魚を採捕する。

### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年6月に、H21調査河川とH21魚道新設河川において1回実施

※ サル川本支流を含まず



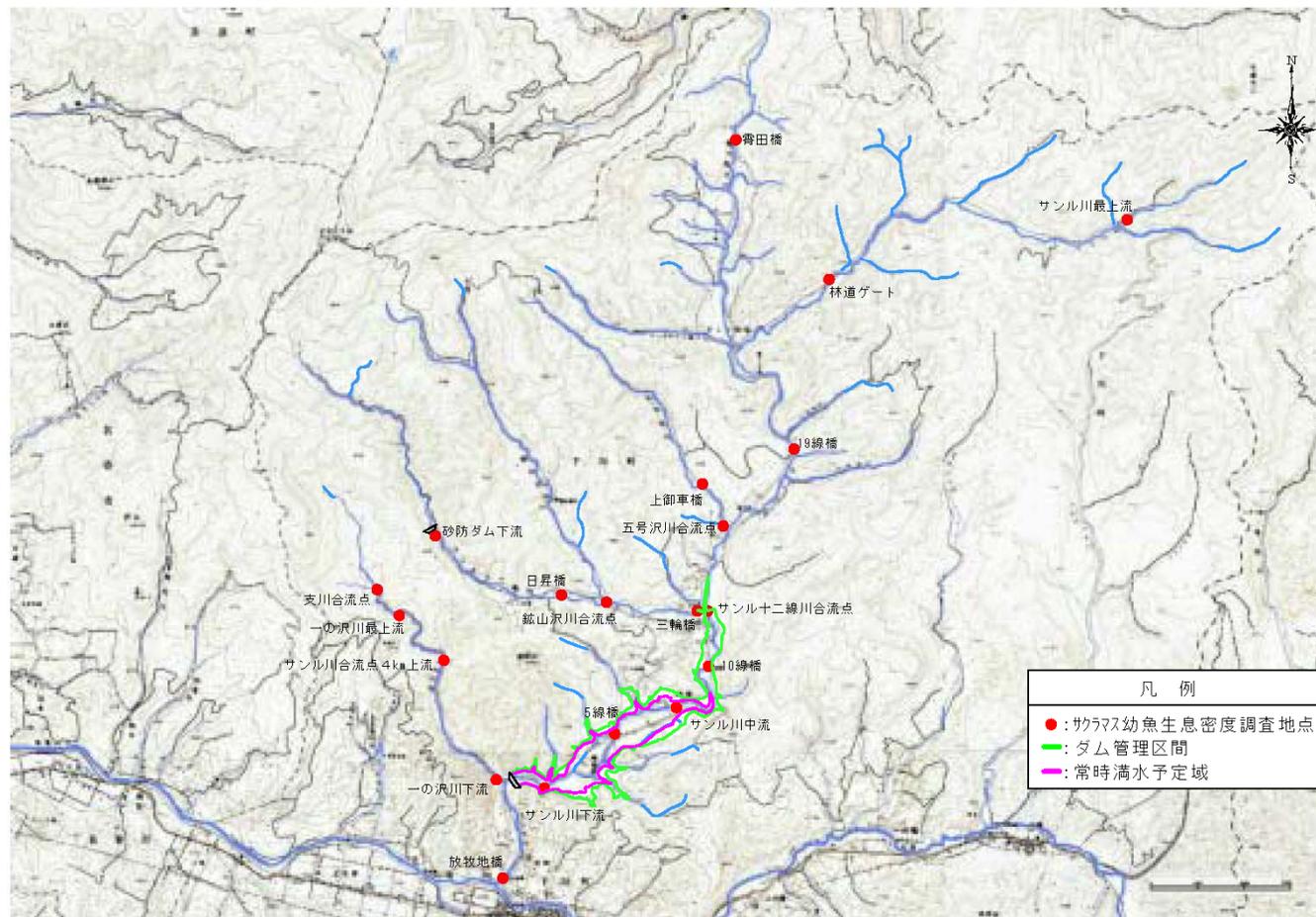
## 1. サクラマス幼魚生息密度調査

### 1) 調査概要

ダム湛水予定域を含めたサンル川本支流においてサクラマス幼魚の分布状況および生息密度の把握を行うために、ショッカー及び投網によりサクラマス幼魚を採捕する。

### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年6月にサンル川本川及び支流において1回実施



## 2. サクラマス産卵床調査

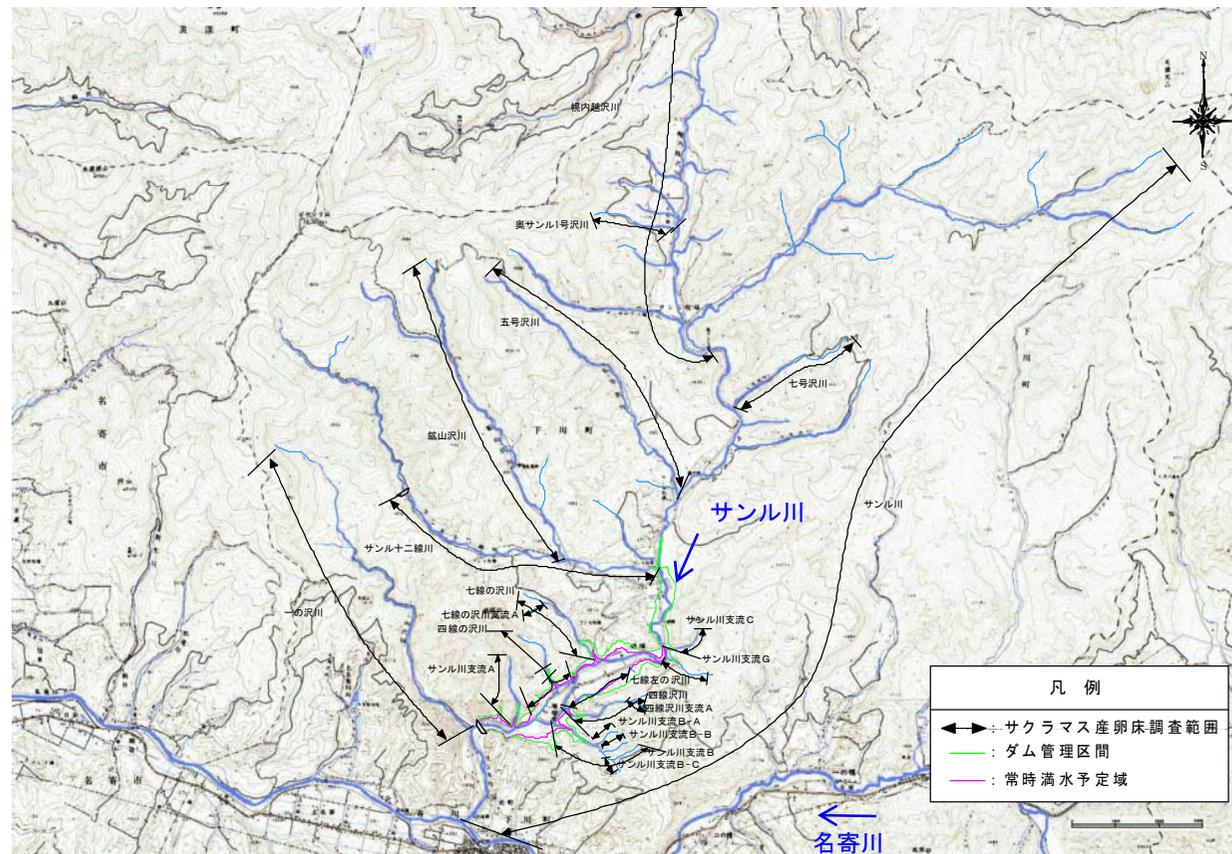
### 1) 調査概要

ダム湛水予定域を含めたサンル川本支流においてに、河川内を踏査し、サクラマス産卵の分布状況を把握する。

### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年9月～10月にサンル川本川及び支流において2回実施

平成22年度は、本支流の代表河川に調査エリアを絞り実施予定。



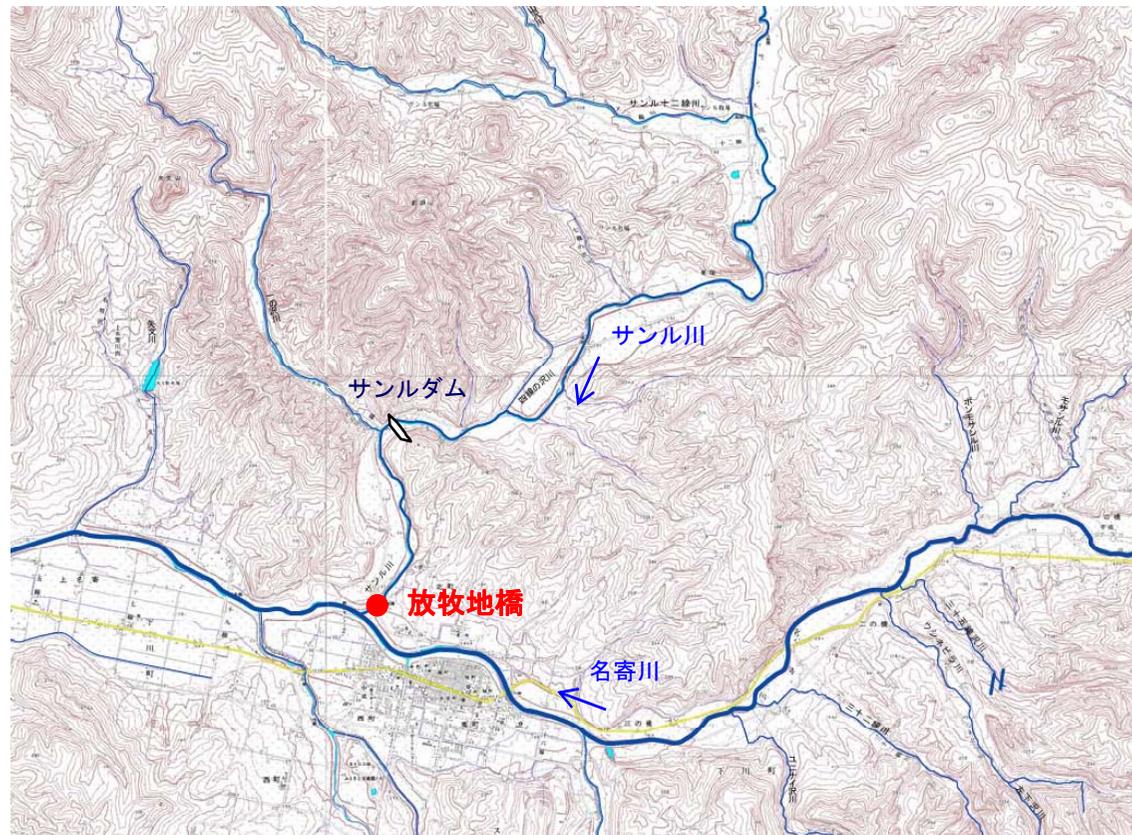
### 3. スモルト調査

#### 1) 調査目的

サンル川におけるサクラマススモルトの降下時期の実態を把握するために、ショッカー及び投網によりサクラマス幼魚（スモルト）を採捕する。

#### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年4月下旬～6月上旬に週1回程度を目処とし、サンル川放牧地橋地点で実施（5回を想定）



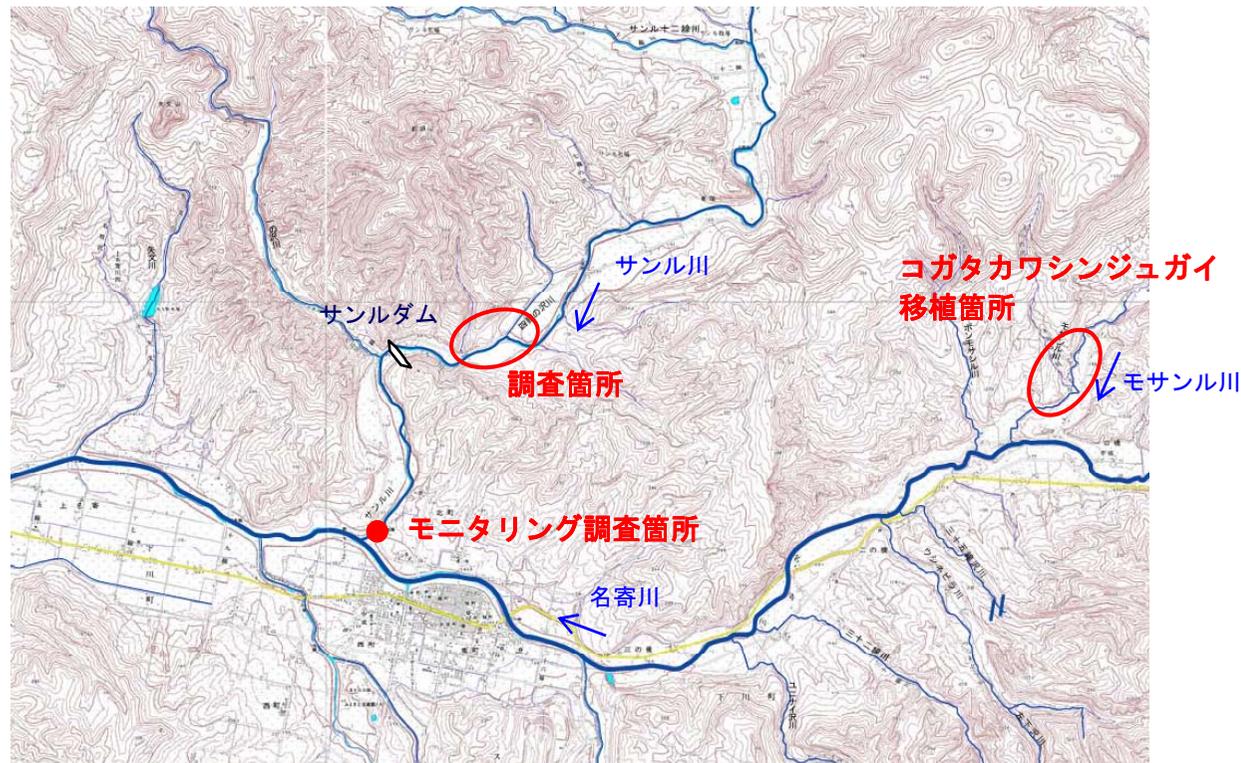
#### 4. カワシンジュガイ類調査

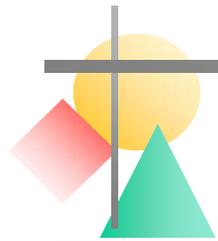
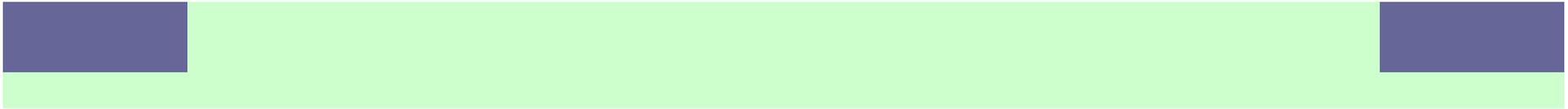
##### 1) 調査目的

平成20～21年度に移植したカワシンジュガイの生息状況を確認するため、モニタリング調査を行う。また、世代交代が行われていないサンル川下流に生息するコガタカワシンジュガイ（モニタリング調査箇所含む）について、モサンル川の生息適地への試験移植を実施する。

##### 2) 調査箇所、調査時期および回数

平成22年10月に既往移植箇所のカワシンジュガイについてモニタリング調査を1回行う。また、平成22年の適切な時期にコガタカワシンジュガイの試験移植を行い、その後、移植先のモニタリング調査を1回行う。





# **H22美利河ダム魚道機能の確認調査(案) (情報提供)**

事業効果の発現を的確に把握するためには、さらなる経過観察が必要と考えられる。

今後の調査計画(案)は、これまでに得られた調査結果を踏まえ実施する。

## 1. 今後の評価に必要な調査

○今後の評価として必要な「3. 事業効果の発現状況」において効果の指標として用いた調査を継続的に実施する。

- ・生息魚類調査
- ・魚道内魚類分布調査
- ・サクラマス産卵箇所調査

○魚道対象種7種のうち、カワヤツメの遡上・分布が確認されていないため、原因が魚道に起因するものか、それ以外の原因によるものなのかを調査する。

## 2. 検討課題への取組みの効果確認に必要な調査

○「魚道内産卵の対応」として上流へのサクラマス成魚遡上を促進させるために産卵抑制すべきか否かを調査し、必要に応じて対策を検討する。

○「分水施設における工夫」の対策による効果を確認する。

○その他、必要に応じて調査を実施する。